

誠実さが重要

マイクロンのビジネス規範
行動と倫理

micron



CEO紹介

チームメンバーの皆様へ

マイクロンでは、私たち全員が会社の成功に尽力しています。世界が情報を利用する方法を変革するというビジョンの達成すべての人の生活を豊かにし、グローバルリーダーとなるという使命をメモリとストレージソリューション。しかし成功はそれだけではありませんビジネス目標を達成すること、そしてどのようにビジネス。何よりも、私たちはすべての行動において誠実に行動します。揺るぎない誠実さは、私たちの根底にある基本原則です。マイクロンの企業価値と事業の進め方について説明します。誠実さはビジネスの結果よりも優先されるべきであり、ビジネス上の行動、結果、または関係を優先して妥協すること。マイクロンのチームメンバーとリーダーは全員、最高水準の誠実さ。長期的には、誠実さなしに私たちのビジョンや使命を達成することは決してできません。



この文書「誠実さは重要です: マイクロンのビジネス行動および倫理規定」は、誠実に行動し、正しい選択を行う方法に関するガイドラインを提供します。役員、チームメンバー、ディレクターなど、私たち全員がガイドラインを理解し、それに従う責任があります。マイクロンのどこで働いていても、具体的な仕事は何であっても、誠実さは常に重要です。

もちろん、この規範はあらゆる状況でどのように行動すべきかについてアドバイスを提供することはできません。単一の文書でそれができるわけではありません。場合によっては、正しい行動方針を決定するのが難しい場合があります。そのようなときは、いつでも上司、法務部門、またはこの規範の第1章の「ヘルプの問い合わせ先」セクションに記載されているその他のリソースに相談できます。また、規範違反を目撃したと思われる場合も、これらのリソースに相談できます。マイクロンは質問や報告を歓迎しており、誠意を持って懸念を報告した人に対して報復することはありません。

私たち一人ひとりがマイクロンの成功に重要な役割を果たしており、当社は私たち一人ひとりがすべてのビジネス取引において誠実さを示すことを求めています。あなたの協力があれば、マイクロンは高品質な製品と倫理的な行動に対する評判を日々築くことができます。

心から、

Sanjay

サンジェイ・メロトラ
最高経営責任者

我々のコミットメント

誠実さへのコミットメントほど重要なものはありません。私たちの評判の品質は、製品の品質と同じくらい重要です。誠実さはビジネスの結果に優先し、ビジネス上の行動、結果、または関係を優先して妥協してはなりません。

私たちの未来は絶え間ないイノベーションの上に成り立っていますが、揺るぎない誠実さとプロフェッショナリズムを持ってビジネスを行うというチームメンバーのコミットメントなしには、私たちの日常業務は不可能です。

あなたの役割

私たちの規範に従う

倫理的に行動するという事は、私たちが行う仕事や私たちの所在地に適用されるすべての法律と規制に従う責任を果たさなければならないことを意味します。私たちは、どんなに小さなことでも、法律に違反することはありません。しかし、私たちが自らに課す基準は、法律に従うことよりも高いものです。私たちは、あらゆる状況で倫理的な選択をしたいと考えています。適切な判断は、多くの場合、正しい行動方針を示しますが、確信が持てない場合は、ためらわずに質問してください。

このビジネス行動および倫理規範は、正しいことを行うという当社のコミットメントを表しています。マイクロンチームの一員となることで、あなたはこのコミットメントを守ることに同意することになります。あなたは、あなたの役職または職務に適用される当社の規範、ポリシー、および法律の基準を理解し、常に従わなければなりません。これらの基準に従わないチームメンバーは、自分自身、同僚、およびマイクロンを危険にさらします。規範に違反した者は、解雇を含む懲戒処分の対象となる場合があります、状況に応じて刑事訴追されることもあります。

この規範は、チームメンバー（従業員、役員、取締役）や臨時従業員など、世界中でマイクロンのために働くすべての人に適用されます。私たち全員がこの規範に含まれる基準を遵守することが求められます。私たちが協力するすべての第三者（ベンダー、サプライヤー、請負業者、販売代理店、営業担当者など）も、この規範に概説されている基準、またはそれらの原則が実質的に類似している場合は、その組織の独自の行動規範とポリシーに従う必要があります。正しい行動方針が不明な場合は、私たちの規範を参照してガイダンスを得てください。

マイクロンは、世界最大級の半導体企業を築き上げる中で、誠実に行動するという長く豊かな伝統を持っています。そして今日、誠実さは、人材、革新、粘り強さ、コラボレーション、顧客重視という当社の中核的価値観の基本原則となっています。その伝統を引き継ぎ、揺るぎない誠実さをもって中核的価値観を実践することは、私たち一人ひとりの責任であり、個人としても企業としても成功するために不可欠です。

管理者と監督者の責任

私たち全員が倫理的な文化を確保する上で重要な役割を果たしていますが、管理者や監督者には追加の責任があります。管理者または監督者の場合は、誠実さとコンプライアンスの文化を創造し維持するために自分の役割を果たす必要があります。これを行うには、次のことを行います。

- 倫理的な行動の模範を示す
- 部下が規範に従う方法と利用可能なリソースを理解していることを確認する
- 報告を監視し、規範に従っているか確認する
- 規範の基準を施行する
- 規範、コンプライアンス、誠実性に違反する可能性があるとき疑問や懸念を抱くチームメンバーをサポートする
- 質問や懸念を理解するために注意深く耳を傾け、チーム内の誰に対しても報復したり容認したりしない

マネージャーやスーパーバイザーとして、倫理的な行動はあなたから始まります。模範を示すことが、他の人に倫理的な行動を促す最善の方法であることを忘れないでください。

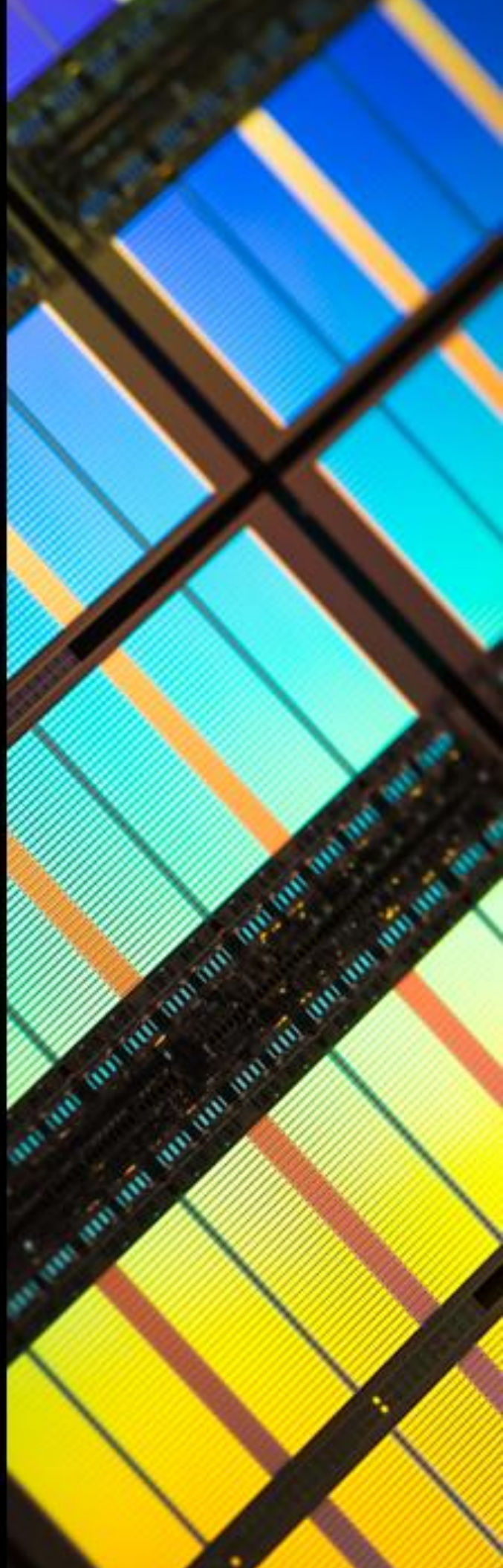
目次

CEOの紹介	i
私たちのコミットメント	ii
あなたの役割	iii
01 誠実なビジネスを行う	1
私たちのコードの機能	2
助けを求める場所	3
02 仲間のために誠実に行動する	5
ダイバーシティ、平等、インクルージョン (DEI)	6
敬意ある扱い	6
公正な労働基準	7
職場の安全	8
薬物とアルコール	10
03 誠実に行動する	11
マイクロンの資産	12
機密情報	12
第三者の知的財産	14
テクノロジーシステム	15
プライバシー	15
利益相反	16
04 市場のために誠実に行動する	20
製品の品質	21
サプライヤーへの期待	21
市場における公正な行動	22
お客様への敬意	25
ギフト、エンターテイメント、食事	25
贈収賄と汚職	28
政府契約	30
世界中でビジネスを行う	31
05 投資家のために誠実に行動する	32
書籍と記録	33
調査と監査	35
インサイダー取引	35
当社を代表して話す	36
06 地域社会のために誠実に行動する	38
環境への取り組み	39
政治活動	40
慈善活動への参加	41
免除	41
関連情報	42

01

誠実にビジネスを行う:

私たちのコードの紹介



私たちのコードが何をするか

Micron では、誠実にビジネスを行うことに注力しています。当社の行動規範は、そのコミットメントをサポートするために遵守しなければならない行動基準を定めています。正しい行動方針が常に明確であるとは限りません。当社の行動規範は、**Responsible Business Alliance (RBA)** 行動規範などの業界基準を含む、当社の業務に適用される法律と倫理原則の概要を示しており、適切な決定を下すために活用する必要があります。場合によっては、当社の行動規範と RBA 行動規範の基準が法律の要件を超えることがあります。また、当社の行動規範は、当社が行うすべてのことにおいて誠実であることへの当社のコミットメントと、お互いに期待する高い倫理基準を示しています。当社が自らに課している基準と、支援が必要な場合に頼ることができるリソースについて説明しています。当社の行動規範に従うことは、**Micron** の成功に役立ち、お互いおよびステークホルダーとの信頼関係を築くことに役立ちます。

RBA とは何ですか？

Micron は RBA の要件に準拠するよう努めており、サプライヤーにも同様の遵守を求めています。**Responsible Business Alliance (RBA)** は、**Micron** を含む大手企業のグループで、グローバル サプライチェーン全体で責任ある労働条件、倫理的なビジネス慣行、環境管理を推進するために参加しています。RBA のメンバーは、労働、健康と安全、環境慣行、倫理、管理システムに関して、当社とサプライチェーンに期待することを定めた **RBA** 行動規範を遵守しています。当社は、これらの期待、基準、継続的な改善のすべてを満たすよう努めています。それが正しい行いだからです。当社の規範には、**RBA** 行動規範の重要な条項に関する一般的な情報が含まれています。これらのトピックの詳細については、グローバル ポリシー サイト (エイリアス: **Policy**/) で入手できる **RBA** 行動規範を参照してください。

Micron には、倫理的な選択を行うために役立つその他のリソースが用意されています。これには、当社の会社ポリシー (別名: **Policy**/)、チーム メンバー ハンドブック、コンプライアンスと倫理のサイト (別名: **Compliance**/) で入手できる追加資料が含まれます。これらの資料は、追加情報を提供するために、この規範全体で参照されています。

当社に適用される法律や規制よりも当社規範または補足資料の方が厳しい場合、当社は常に当社規範および補足資料に従い、不明な点があれば質問する必要があります。詳細については、規範の最後にある「追加リソース」セクションを参照してください。

当社の規範は、誠実に事業を行うという当社の取り組みを支えるために遵守しなければならない行動基準を定めています。

助けを求める場所

疑問がある場合や不正行為の可能性を知った場合には声を上げることで、当社は誠実さに対するコミットメントを守ります。不正行為の事実または疑いを報告することで、マイクロンは潜在的な問題を調査し、不正行為を阻止し、業界リーダーとしての当社の評判を傷つける可能性のある行為を防ぐことができます。懸念事項を報告したり質問したりするには、次の連絡先にお問い合わせください。

- 部門長
- 当社の役員
- コンプライアンスと倫理、人事組織、従業員関係 (ER)、セキュリティなど、懸念事項に関連する専門知識を持つ部門
- マイクロンのコンプライアンス ヘルプライン (別名: Helpline/)

Micron

では、質問や懸念事項を部門マネージャーに直接伝えることを推奨しています。直接伝えることができない場合は、他の対面リソースまたはコンプライアンス

ヘルプラインにお問い合わせすることができます。コンプライアンス ヘルプラインはサードパーティプロバイダーによって運営されており、Micron の社内外を問わず、誰でも 24 時間 365

日、インターネットまたは電話で利用できます。ヘルプラインには、エイリアス:

Helpline/、コンプライアンス & 倫理サイト (エイリアス: Compliance/)、または外部の micron.com ホームページからアクセスできます。

当社のコンプライアンス ヘルプラインでは、現地の法律で許可されている場合、匿名で懸念事項を報告できます。ただし、当社が問題をより適切に調査できるよう、連絡先情報を残していただくようお願いいたします。報告の際は率直かつ正直に行い、故意に虚偽または誤解を招く情報を含めないようにしてください。当社が完全かつ適切な調査を実施できるよう、できる限り多くの情報を提供してください。当社はすべての報告を真摯に受け止めます。

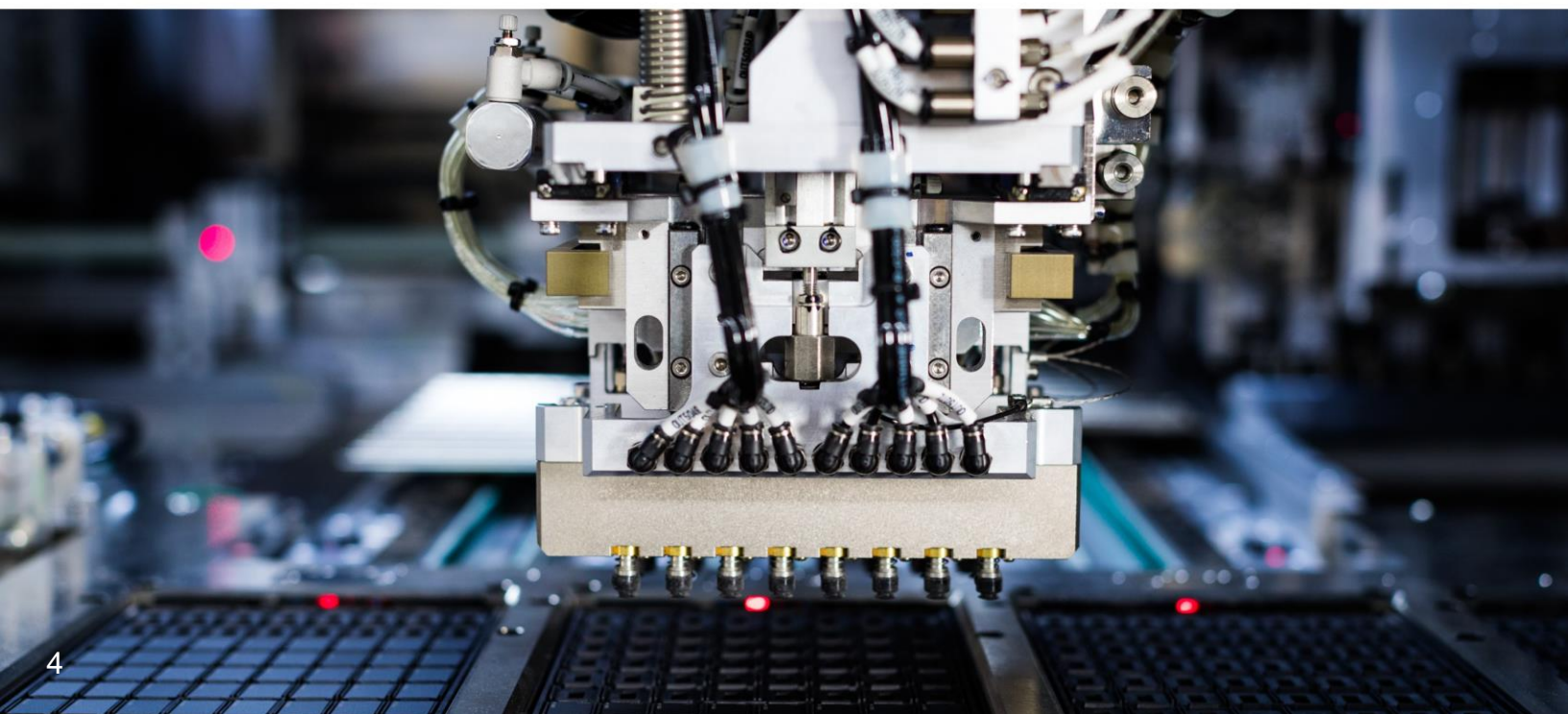
報告を行うことは、当社が倫理的かつ成功し続けるために貢献することになります。懸念事項について直接上司に相談したり、特定のトピックについて特定の個人や部門に質問したりすることもできますが、懸念事項や潜在的な違反について、これまでに参照したリソースをいつでも参照できます。できるだけ早く声を上げることは、特定の専門家を見つけることを心配することよりも重要であることを忘れないでください。

マイクロンは、報復や報復を恐れることなく、違反の疑いを報告し、調査に参加できる「声を上げる」環境を作ることに尽力しています。誠意を持って懸念を表明したり調査に参加したりした人に対して、誰も報復することはできません。誠意を持って報告した人に対して報復した人は、解雇を含む懲戒処分の対象となる場合があります。

お互いの行動に責任を持つことは、当社の成功の鍵です。不正行為の可能性に気づいたときに声を上げ、調査に協力する義務の詳細については、第5章の「調査と監査」セクションを参照してください。

報復を受けた、または目撃したと思われる場合は、前述のリソースのいずれか、または本規範の末尾にある「追加リソース」セクションに詳述されているリソースに直ちに状況を報告してください。

**懸念を表明したり、
誠意を持って調査に参加したりしたからといって、
誰も報復することはできません。**





02

演技

誠実さ

私たちの仲間

チームメンバー

多様性、平等、包摂 (DEI)

マイクロンでは、チームメンバーが競争上の優位性を生み出す重要な原動力となっています。当社は、最高のイノベーションはチームメンバーの多様な経験、視点、背景から生まれると信じています。当社は多様性を幅広い視点で捉えています。多様性は1つの側面だけではありません。多様性には、人種、民族、性別、性的指向、社会経済的地位、障害、年齢などが含まれます。多様性は目に見える場合もあれば、目に見えない場合もあります。平等とは、マイクロンの全員が、アイデンティティに関係なく、成長し、貢献し、前進する機会を持つことを意味します。インクルージョンとは、チームメンバーが認められ、耳を傾けられ、評価され、尊重されることを意味します。マイクロンは、人々が自分自身、考え方、貢献するものに対して評価されていると感じ、すべてのチームメンバーが成長し、成長できる、多様で包括的な文化を築くことに尽力しています。

すべてのチームメンバーが公平かつ敬意を持って扱われる、差別のない職場を提供することは、インクルージョンの文化を育むために不可欠です。当社は、チームメンバーまたは求職者に対するいかなる形態の違法な差別も固く禁じています。当社は、人種、肌の色、民族、宗教、性別、性的指向、性自認および性表現、年齢、国籍、市民権の状態、障害、退役軍人としての地位、婚姻状態、または法律や会社の方針で保護されているその他の分類に関係なく、募集、雇用、トレーニング、昇進、懲戒、その他の雇用決定を行います。さらに、当社はチームメンバーの障害または宗教的信念や慣習に対して合理的な対応を提供することに尽力しています。

質問：

マリアナの同僚ジェームズは、オンラインで読んだジョークを同僚に話すのが大好きです。多くの場合、ジョークのオチは民族、人種、または性別のステレオタイプに関連しています。マリアナはそのジョークを不快に感じており、他にもそう感じている人が数人いることを彼女は知っています。彼女はどうすればよいのでしょうか？

答え：

マリアナさんはジェームズに、彼のジョークが不快だと伝え、やめるように頼むべきです。もしそうすることに抵抗があるなら、あるいはジェームズがこの種のコメントをし続けるなら、彼の行動について上司に話すべきです。職場は不快なジョークや下品なジョークを言う場所ではありません。この種のコメントはネガティブな環境を作り出し、他の人に歓迎されていないと感じさせる可能性があります。マイクロンでは、誰もが尊重されていると感じ、最高の仕事をできる環境を作りたいと考えています。

敬意ある対応

尊重は、多様性、平等、包括性に対する当社の取り組みの基本であり、当社自身と社員同士が常に尊重し合うことを期待しています。礼儀正しく生産性の高い職場では、誰もが敬意とプロ意識を持って扱われるべきです。したがって、当社はいかなる種類のハラスメントも容認しません。

ハラスメントには、口頭での発言、身体的接近、視覚的な表示など、さまざまな形があります。同僚、上司、ベンダー、サプライヤー、請負業者、さらには顧客から来ることもあります。ハラスメントの法的定義は勤務先によって異なりますが、常に、他者に対して威圧的、不快、または屈辱的な環境を作り出すことが目的または効果となります。これは差別の一形態であり、したがってマイクロンでは許されません。

ハラスメントは性的なものと同性的なもの両方があることに注意してください。セクシャルハラスメントには、望まないアプローチ、不適切な性的なジョーク、性的に示唆的な発言、接触、性的行為の要求、容姿に関する不適切な発言などが含まれます。非セクシャルハラスメントには、人種、宗教、民族、性別、年齢に関する不快な発言、ジョーク、写真などが含まれます。職場を礼儀正しく保つためには、発言や行動は常に適切でなければなりません。

差別的または嫌がらせ的な行為を経験または目撃したと感じ、自分でその状況に対処するのが不安な場合は、声を上げて問題を報告してください。誠意を持って苦情を申し立てた人に対する報復や報復は決して容認しません。

詳細については、多様性とインクルージョンのサイト (エイリアス: DEI/) と、ポリシー サイト (エイリアス: Policy/) にあるハラスメントと差別の防止ポリシーを参照してください。

質問：

ファティマさんは敬虔なイスラム教徒で、毎日ヘッドスカーフを巻いています。同僚たちはよくそのことについてコメントし、時には同僚たちが彼女のイスラム教信仰について冗談を言ったり失礼な発言をしたりするのを耳にします。彼女はそれが不快ですが、それがハラスメントに該当するかどうかはわかりません。ファティマさんはハラスメントを受けているのでしょうか？

答え：

これはハラスメントに該当する可能性があります。ファティマの同僚は彼女の宗教に基づく発言で彼女を不快にさせています。彼女は同僚に彼らの発言が彼女を不快にさせていることを伝えて、この状況について声を上げるべきです。彼女は上司や他のリソースに連絡することもできます。私たちは皆、職場で尊重されるに値します。

尊重はチームの成功の基本であり、私たちは常に自分自身とお互いに尊重することを期待しています。

公正な労働基準

当社は、事業を展開するあらゆる場所で人権を尊重し、保護することに全力で取り組んでいます。このため、当社は労働時間と賃金に関するすべての適用法、および RBA 行動規範のすべてのガイドラインを遵守しています。これらのガイドラインでは、労働時間は現地法で定められた最大時間を超えてはならず、通常、残業時間を含めて週 60 時間を超えてはなりません。さらに、すべての従業員は 7 日ごとに少なくとも 1 日の休日が認められています。

当社は、いかなる業務や施設においても児童労働や強制労働を行っておらず、いかなる種類の人身売買や奴隷制度にも決して関与しません。当社は、すべての業務において、児童の搾取、身体的、言語的、または精神的虐待、労働者の移動に対する不当な制限、または強制的な隷属を許しません。当社は、雇用の最低年齢を定めるすべての適用法を完全に尊重し、遵守します。さらに、マイクロンは結社の自由の権利を尊重します。



すべてのチームメンバーは、労働組合やその他の労働者グループに参加するか、参加しないかは自由です。当社の人権に対する立場の詳細については、当社のグローバルポリシー サイト (エイリアス: Policy/) にある人権ポリシーを参照してください。

当社のサプライヤーは、社会的責任を果たし、倫理的に健全な方法でグローバル サプライチェーンを管理する上で重要な役割を果たしています。当社は、サプライヤーに対しても、当社自身に課しているのと同じ高い基準を課しています。つまり、サプライヤーには、この規範と RBA 規範を受け入れ、それに従うことを期待しています。当社のサプライチェーンで人権侵害が発生している疑いがある場合は、そのことを声に出して伝える責任があります。

質問：

ダラはマイクロンの製造工場に働いています。地元の祝日を祝うためにチームメンバーの何人かが休暇を取ったため、人員が不足しています。シフトをカバーするために、彼女のマネージャーは全員に、本来よりも長い時間、残業するように求めました。ダラはそれが正しくないことを知っていますが、マネージャーはそれを補うために後で全員に追加の休暇を与える約束しました。ダラは残業するべきでしょうか？

答え：

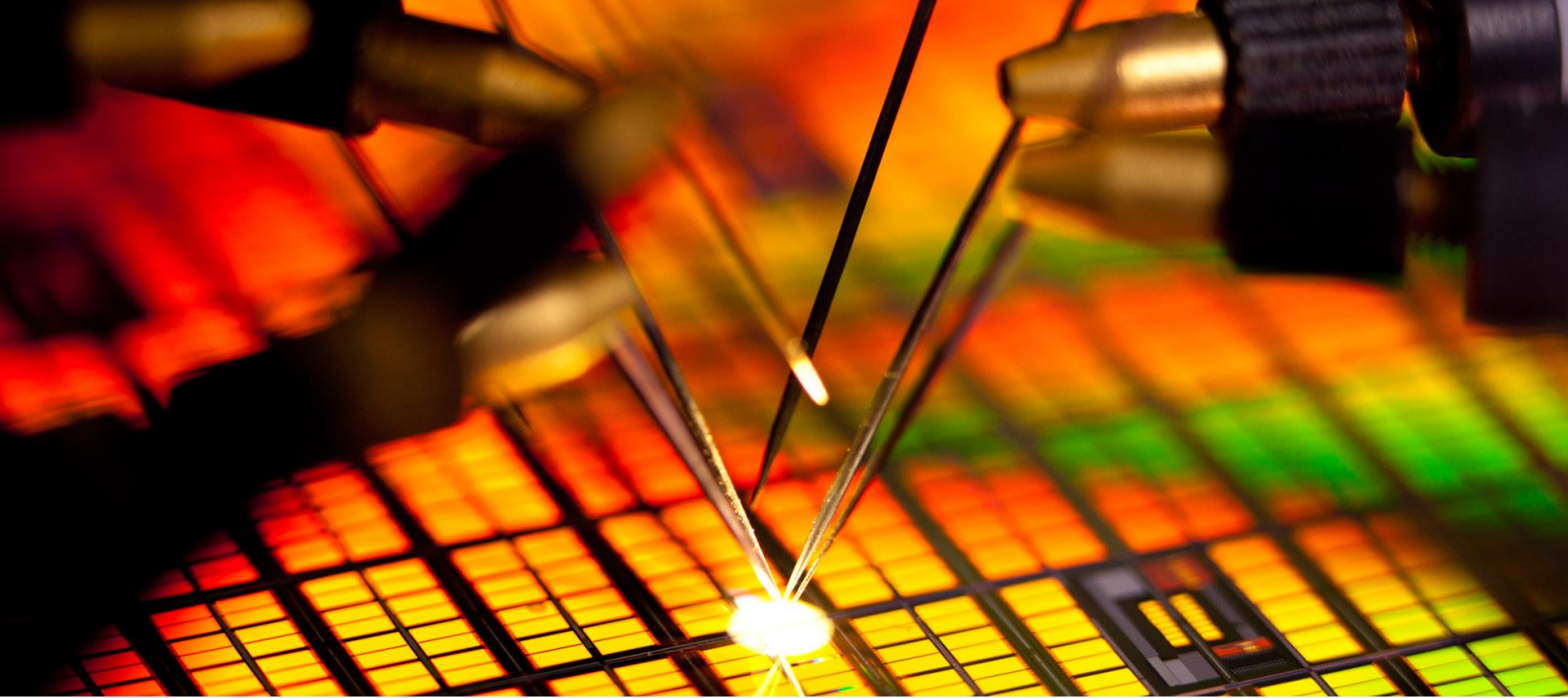
いいえ、ダラは他のマネージャーまたは人事部門に、マネージャーが彼女に必要以上の労働時間を要求していることを伝える必要があります。私たちは、異常な状況や緊急事態がない限り、法的に許可されている時間を超えて働いたり、1週間あたり60時間を超えて働いたりしてはなりません。私たちは、労働時間と労働条件に関連するすべての適用法と規制に従います。マイクロンは、誰もが公正な時間働き、仕事に対して公正な報酬を支払われる職場を作ることに尽力しています。

マイクロンは、すべての従業員が公平かつ敬意を持って扱われる、差別のない職場を提供することに尽力しています。

職場の安全

Micron は、すべてのチームメンバーに安全な作業環境を提供することに尽力しています。Micron の施設で作業している間、私たちは自分に適用される安全衛生規則に従う必要があります。当社は、すべての安全衛生法、および法律で要求される範囲を超える可能性のある当社の安全衛生ポリシーに準拠しています。このコンプライアンスには、RBA 行動規範の基準が含まれます。具体的には、当社は、労働安全、緊急事態への備え、職業上の傷害および疾病、産業衛生、肉体的に厳しい作業、機械の安全保護、衛生、食品、住宅、安全衛生コミュニケーションに関する RBA の基準を満たしています。

安全で健康的な職場環境を維持するというマイクロンの取り組みは、私たち一人ひとりが仕事に取り組む際に潜在的な安全と健康のリスクに注意を払わなければならないことを意味します。この注意により、危険を予測し、怪我や病気を防ぐことができます。チームメンバー全員、マイクロンに代わって働くすべての人、および当社の敷地内で働く他の会社の従業員は、最高の安全基準を維持することに細心の注意を払わなければなりません。私たちは周囲のすべての人の模範となるよう努めなければなりません。



監督者にとって、これは次のことを意味します。

- 職場を積極的に分析し、プロセスの危険を含む危険を予測して防止する
- 安全が脅かされるときに、軽率な行動や悪ふざけを抑止する
- チームメンバーに危険を特定し、安全な作業慣行に従うよう奨励する
- 確立されたポリシー、手順、作業ルールの施行
- チームメンバーが適切に訓練されていることを確認する
- 潜在的な危険の報告にタイムリーに対応する

チームメンバー全員にとって、これは次のことを意味します。

- 潜在的な危険を上司、ホスト、または安全部門に速やかに報告する
- 仕事には必要な保護具を着用する
- 化学物質やその他の潜在的に危険な物質の取り扱いに注意する
- 機械や装置の操作および保守の際には、すべての安全規則と手順を遵守する
- 階段を上り下りするときに手すりを握る
- 廊下、通路、階段、駐車場を歩きながらモバイルデバイスを見ないようにする
- 人間工学のガイドラインに従う
- 緊急時に適切に対応する
- 仕事に関連した怪我や病気の報告

安全で健康的な職場環境を維持するというマイクロンの取り組みは、私たち一人ひとりが仕事を行う際に潜在的な安全と健康のリスクに注意しなければならないことを意味します。

チームメンバー全員の安全を守るため、いかなる形態の暴力にも関与せず、容認しません。これには脅迫と暴力行為の両方、威嚇、脅迫行為、いじめ、他者に恐怖心を植え付ける行為が含まれます。職場では武器の持ち込みは禁止されています。誰かが危険にさらされていると思われる場合は、すぐに建物の警備員または地元当局に連絡してください。

安全に関しては、当社ではベンダー、サプライヤー、請負業者に対して、当社自身に課すのと同じ高い基準を課しています。つまり、サプライヤーには、当社の規範要件と健康と安全に関する RBA のガイドラインの両方を受け入れ、遵守していただくことを期待しています。

詳細については、Micron の環境衛生安全ポリシーをお読みください。

薬物とアルコール

Micron

は、安全で生産性の高い職場環境を提供することに尽力しています。当社は、違法薬物の使用やアルコールの乱用をしていない従業員を雇用したいと考えています。薬物の乱用は、安全に仕事をする能力を制限します。したがって、アルコール、違法薬物、その他の薬物や医薬品の影響下にある状態で、または酩酊状態で仕事をすることは決してありません。

さらに、勤務中または会社の敷地内にいる間は、違法薬物を使用、所持、譲渡、販売したり、アルコール、処方薬、市販薬を乱用したりすることは決してできません。

ご質問があれば、いつでもマネージャーにご相談ください。ただし、次のリソースは、敬意と安全が保たれた職場環境の構築に関する懸念に対処するのに特に適しています。

- ハラスメントや差別に関する問題については、従業員関係、上司、副社長、法務部、またはコンプライアンス ヘルプライン (別名: Helpline/) に連絡してください。
 - 安全上の懸念については、EHS チーム (エイリアス: EHS/) にお問い合わせください。
 - 他のチーム
メンバーが職務中に障害を負っていることに気付いた場合は、直ちに上司、セキュリティ、人事、従業員関係に通知するか、コンプライアンス ヘルプライン (別名: Helpline/) に連絡してください。
-

03

会社のために誠実に行動する



マイクロンの資産

私たちは毎日、マイクロンの資産を利用してビジネス目標を達成し、会社の成功を確実にしています。私たち全員に、マイクロンの資産を保護し、効率的に使用する責任があります。会社の資産には以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 財産
- 在庫
- 設備と備品
- コンピュータのデータと時間
- 機密情報および企業秘密
- 勤務時間中のチームメンバーの時間とスキル

Micron の資産を不正な目的に使用してはなりません。盗難、不注意、浪費は Micron の収益性に直接影響するため、会社の資産は常に賢明かつ慎重に使用する必要があります。

質問：

イザベルは時々会社のクレジットカードを使って食料品や車のガソリン代を支払います。彼女はそれほど頻繁にはクレジットカードを使っていませんし、最近残業している分は会社が払わなければならないと思っています。彼女は正しいことをしているのでしょうか？

答え：

いいえ、そうではありません。クレジットカードなどの会社の資産は、仕事に必要な場合にのみ使用する必要があります。イザベルがどれだけ残業したとしても、会社のクレジットカードを個人的な出費に使用することは決して許されません。

機密情報

Micron の知的財産 (IP) は、最も貴重な資産の 1 つです。IP には、Micron の特許、著作権、商標、企業秘密、その他の機密情報や専有情報が含まれます。一般的に、これは、公開が承認されていない情報はすべて機密情報とみなされ、グローバル ポリシー サイト (エイリアス: Policy/) で入手可能な Micron の情報分類ポリシーに従って取り扱われる必要があることを意味します。

機密情報には以下が含まれます。

- チームメンバー情報 (福利厚生、報酬、連絡先情報などの機密性の高い個人情報、医療情報、財務情報を含む)
- 設計ドキュメント
- 製造および製品仕様
- 技術情報
- 財務情報
- 新製品情報とロードマップ
- 価格設定、価格設定方針、製造コストまたは予算
- Micron のビジネスプロセスに関する情報
- 顧客およびサプライヤーのリストと連絡先情報
- 秘密保持契約 (NDA) に基づき第三者からマイクロンに委託された情報

当社の機密情報、およびパートナーから委託された機密情報を保護するために、以下のガイドラインに従う必要があります。

- 機密情報の紛失、破壊、または不注意による開示を防ぐために、あらゆる合理的な安全対策を講じてください。
- 法務部門の承認を得た **NDA** を締結していない限り、**Micron** の従業員以外の人に機密情報を開示しないでください。
- 他のチーム
メンバーと機密情報を共有する場合は、そのメンバーがその情報を知る正当な理由があり、あなたがその権限を持っている場合にのみ共有してください。
- 機密情報を個人の電子メール
アドレスに送信したり、個人のコンピューター、タブレット、ストレージ
デバイスに保存したり、承認されていないファイル共有サイトにアップロードしたりしないでください。
- 電子メールを含むすべての機密情報には、「**Micron Confidential**」または同様のラベルが目立つように付けられていることを確認してください。
- 許可なく会社の敷地内から機密情報を持ち出さないでください。
- 出張中は、ノートパソコン、ブリーフケース、その他すべての会社の所有物を常に携帯してください。**Micron** の敷地内でも、使用していない機密情報や電子メール
アカウントは必ずパスワードで保護してください。
- 空港、廊下、レストランなどの公共の場では、会社関連の情報を話さないでください。常に第三者が聞いていると想定してください。
- 機密文書、ディスク、ドライブ、オーディオテープ、その他の会社の資産をコピー、ファックス、または廃棄する場合は、細心の注意を払ってください。情報が傍受される可能性がある場所や形式で廃棄しないでください。
- 職務上、チームメンバーの個人情報やその他の機密情報に触れる場合は、紛失や盗難から守るために特別な注意を払ってください。業務上必要な範囲でのみ、法律に従って使用してください。
- **Micron** での雇用が終了した後も機密情報を保護します。
- 面接対象者やチームメンバーに、以前の雇用主または現在の雇用主に関する機密情報を開示するように決して求めないでください。

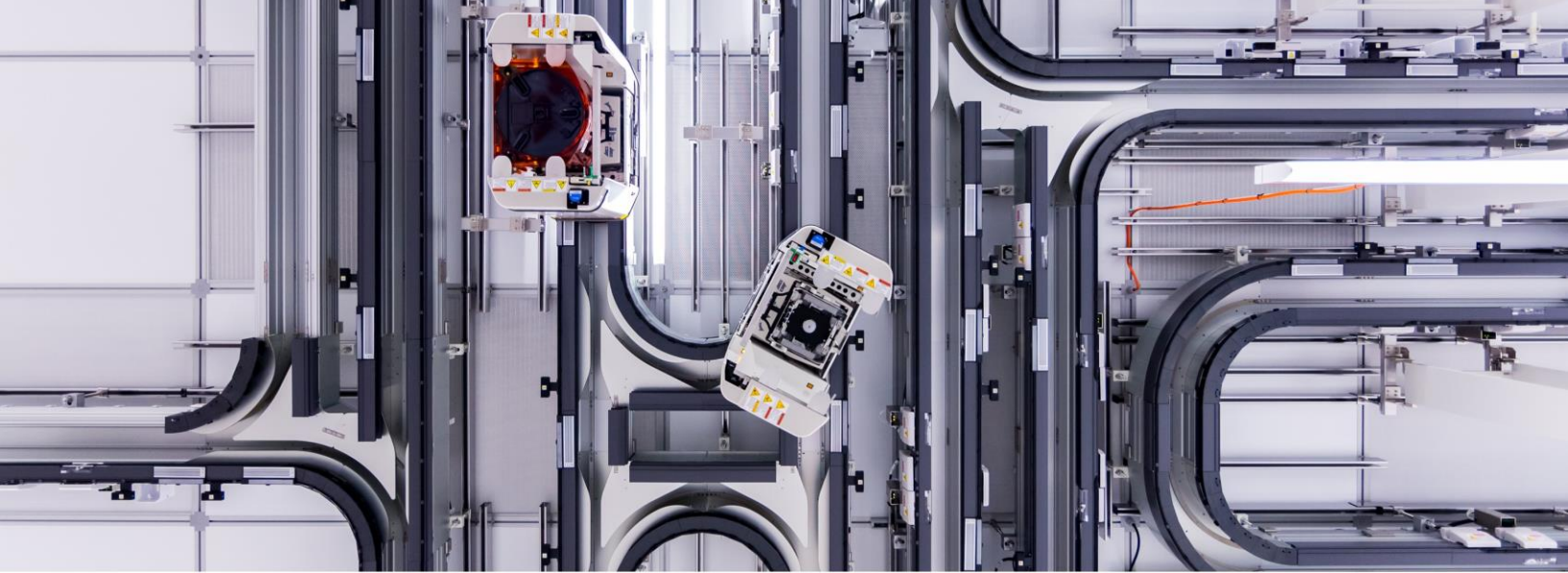
Micron の機密情報の保護と分類に関する追加情報は、当社の情報分類ポリシー、許容使用ポリシー、およびグローバル ポリシー サイト (エイリアス: **Policy/**) にあるその他の特定のグローバルポリシーに記載されています。

質問：

ロベルトとエリーゼは、新しいソリッドステート ドライブの開発に取り組んでいます。ある日、仕事が終わった後、彼らは地元のバーに飲みに行くことにしました。彼らは、他の人に聞こえるほど大きな声で、新しいドライブのアイデアについて話し続けます。彼らは何か間違ったことをしたのでしょうか？

答え：

ロベルトとエリーゼは、開発中の製品やその他の会社の機密情報を、他人が耳にする公共の場で話し合うべきではありませんでした。情報が悪意ある人物の手に渡り、競争力を失う恐れがありました。



第三者の知的財産

当社が自社の知的財産権を尊重し保護するのと同様に、他者の知的財産権も尊重する必要があります。これは、次のことを意味します。

- 適用される **NDA**
または機密情報開示契約の条件を厳密に遵守する場合を除き、顧客、ベンダー、サプライヤー、請負業者、またはその他の第三者から **Micron** に提供された機密情報を、**Micron** 以外のいかなる者にも使用または開示しないでください。
- 著作権所有者の許可や法務部門の承認なしに、インターネットやその他の情報源から情報をコピーしないでください。
- 許可されていないサイトからのビデオや音楽を視聴したりストリーミングしたりしないでください。
- **Micron** が承認したインストーラーを使用する場合、または法務部門の許可を得た場合を除き、**Micron** のコンピューターまたはデバイスにソフトウェアを読み込んだりインストールしたりしないでください。
- 文書、写真、ビデオに著作権マークが付いていないからといって、自由に使用できると決して考えないでください。
- 新しい商標またはブランド名を採用する前に、必ず **Global Communications & Marketing** の承認を得てください。
- 特許に関するご質問は、法務部の特許開発グループにお問い合わせください。
- **Micron** 以外の IP を使用する権利に関する質問については、法務部門にお問い合わせください。

質問：

ユキコさんは最近マイクロンに入社しました。以前は競合他社で働いており、最新のフラッシュメモリデバイス向けのソーシャルメディアマーケティングプランの開発を担当していました。そのソーシャルメディアマーケティングプランの詳細を新しい同僚と共有して、マイクロン向けの競合戦略を策定してもらうことはできますか？

答え：

いいえ、ユキコはこの情報をマイクロンの新しい同僚と共有することはできません。マイクロンの機密情報を保護する責任が私たち全員にあるのと同様に、パートタイムの雇用主を含む第三者の情報も保護する必要があります。ユキコはチームと協力してマイクロンの製品を宣伝する新しい独自のマーケティングプランを作成することで、マイクロンを最も効果的に支援できます。

テクノロジーシステム

私たち一人ひとりには、会社のネットワークとコンピュータシステムを倫理的かつ合法的に使用する責任があります。これらのシステムを偶発的に個人的に使用する場合がありますが、現地の法律で禁止されている場合を除き、会社はその使用を監視する権利を留保します。これには、会社の電子メールアカウントとボイスメールアカウント、および会社のラップトップやその他のモバイルデバイス上のすべての電子文書が含まれます。会社のネットワークとコンピュータシステムを、許可されていない、違法な、または非倫理的な目的で使用したり、性的に示唆的または露骨なコンテンツをダウンロードしたりすることは、いかなる場合も許可されません。さらに、会社のネットワークまたはコンピュータシステムのセキュリティ侵害の疑いまたは既知の場合は、速やかに報告する必要があります。

当社のネットワークおよびコンピュータシステムに関するポリシーに関する追加情報は、許容使用ポリシー、セキュリティポリシー、AI ガバナンス ポリシーなど、当社のグローバル ポリシー サイト (エイリアス: **Policy/**) でご覧いただけます。

プライバシー

当社は、プライバシー権を尊重し、顧客、サプライヤー、パートナー、チームメンバーの個人データを保護することを含め、妥協のない誠実さとプロ意識を持って事業を遂行することに尽力しています。

個人データにアクセスする場合、私たちは慎重かつ専門的に行動し、個人データプライバシーポリシーを含むマイクロンのポリシーとセキュリティプロトコルに常に従う必要があります。個人データを取り扱う際は、個人情報保護契約の条件にも従い、プライバシー通知に従って個人データを処理する必要があります。さらに、特定の部門には個人データの処理に関連するポリシーと手順がある場合があります。詳細については、部門の担当者にお問い合わせください。

Micron の社外の人物から顧客、サプライヤー、パートナー、またはチームメンバーに関する個人データの要求があった場合は、まずデータ提供の承認を確認し、不明な点がある場合はプライバシー チーム (**Privacy/**) に問い合わせてください。

個人データのプライバシーに関するマイクロンのポリシーと通知に関する追加情報は、個人データのプライバシー ポリシーを含め、当社のグローバル ポリシー サイト (エイリアス: **Policy/**) でご覧いただけます。

Micron の資産を保護する方法については、上司以外にも他の人に問い合わせることで指導を受けることができます。

- 知的財産および機密情報に関するご質問は、法務部までお問い合わせください。
 - チームメンバーの個人情報の適切な取り扱い方法や、チームメンバーに関する社外からの要望については、人事部門にお問い合わせください。
-

利益相反

私たちは常に会社の最善の利益のために行動する責任があります。誠実さに対する評判を維持するために、利益相反が生じる可能性のある状況には常に注意する必要があります。利益相反は、マイクロンの最善の利益のために行動するという義務を妨げる可能性のある、または妨げるとみなされる可能性のある個人的または私的な利益（金銭的またはその他の利益）がある場合に生じます。また、個人的利益が客観性やマイクロンへの忠誠心を試したり、仕事のパフォーマンスを妨げたり、マイクロンの利益と競合したりする場合にも、利益相反が生じる可能性があります。このような利益相反は、マイクロンのコンプライアンスおよび倫理部門に開示して審査を受ける必要があります。これらの状況のいずれかが当てはまる場合、または利益相反があると思われる場合、または利益相反の可能性がある場合は、エイリアス: COI/ にアクセスして開示を提出してください。

利益相反が生じる可能性のあるすべての状況を説明することはできません。ただし、より一般的な利益相反のいくつかを以下に概説します。詳細については、エイリアス: Policy/ にある当社の利益相反ポリシーを参照してください。

家族とビジネスをする

あなたや近親者、または親しい友人が、マイクロンのベンダー、サプライヤー、契約者、顧客、代理店、販売店、または競合企業に個人的な利害関係（雇用や投資など）を持っている場合、利益相反が生じる可能性があります。これは、私たち個人、または家族や友人の利益がマイクロンの利益と異なる可能性があるため、問題を引き起こす可能性があります。

近親者には以下のいずれかが含まれます。

- 配偶者
- 同棲相手
- 両親または継父母
- 子供たち
- 継子
- 兄弟姉妹および義理の兄弟姉妹
- 甥と姪
- 叔母と叔父
- 祖父母
- 孫
- 義理の両親

こうした状況に陥った場合、Micron での地位を利用して、入札プロセスや交渉などのビジネス上の決定にいかなる形でも影響を与えてはなりません。

誠実さに対する当社の評判を維持するために、マイクロンの最大の利益のために行動するという当社の義務を妨げる可能性のある、または妨げるとみなされる可能性のあるあらゆる状況に注意する必要があります。

職場での人間関係

同じ報告チェーン内のチーム

メンバー間の親密な関係、恋愛関係、または近しい家族関係は、実際のまたは潜在的な利益相反を生み出し、偏見やえこひいきの認識につながり、仕事のパフォーマンスを低下させ、他のチームメンバーに悪影響を及ぼす可能性があります。

人事部門の **EVP** 兼最高人事責任者に通知され、書面で同意しない限り、他のチームメンバーと親密な関係、恋愛関係、または近しい家族関係にあるチームメンバーは、報告系統において他のチーム

メンバーより上位または下位のいずれのレベルにも属してはならず、他のチームメンバーと定期的かつ密接に協力する必要がある役割に就いてはならず、他のチームメンバーの業績評価、報酬、またはその他の雇用条件に影響を与える役割に就いてはなりません。

当社の経営陣には追加の規則があります。人事部門の **EVP**

兼最高人事責任者に通知され、書面で同意しない限り、副社長レベル以上のチームメンバーは、どの組織でも、どのレベルでも、他のチーム

メンバーと親密な関係、恋愛関係、または近しい家族関係を持つことはできません。職場での関係に **EVP** 兼最高人事責任者が関与している場合は、最高法務責任者が書面で同意する必要があります。

チーム

メンバーは、直接的または間接的に自分の監督下で働いている、または採用、業績評価、保持、昇進、昇格、報酬や福利厚生の変更に関して自分が意思決定権を持っているチーム

メンバーと親密な関係、恋愛関係、または近しい家族関係にある (または将来ある) ことに気付いた場合は、直ちに人事部門に通知する必要があります。

職場における人間関係に関する追加のガイダンスについては、『グローバル チーム メンバー ハンドブック』を参照してください。

質問：

ショーナは、当社の財務部門のシニア ディレクターです。ショーナの弟のオリバーは、最近 IT サポート スペシャリストとして採用され、姉が管理する財務グループのサポートに配属されました。ショーナまたはオリバーは、人事部門に近い家族関係を報告すべきでしょうか？

答え：

はい。この状況では、兄弟姉妹が互いに定期的に密接に仕事をする必要があるため、彼らは人事部門に近い家族関係を速やかに開示する必要があります。関係するチームメンバーが職場関係の問題を直ちに提起した場合、人事部門の **SVP** および最高人事責任者が状況を検討し、同意するかどうかを決定します。同意が得られない場合、Micron は通常、ビジネスニーズが許す限り、報告構造または職務割り当ての変更に対応しようとします。ただし、Micron は、開示された関係に関連する潜在的な問題を軽減または改善するために、再配置を含む適切な措置を講じる裁量権を有します。

社外雇用

マイクロンでの業務外の活動は、利益相反を生じさせたり、マイクロンでの職務遂行に悪影響を与えたり、会社での職務に費やすことが期待される時間や注意力を奪ったりしてはなりません。また、限定的で重要でない使用を除き、事前の承認なしに社外活動に会社の設備、施設、または備品を使用することはできません。社外業務活動の詳細については、エイリアス: COI/ を参照してください。

さらに、会社でのあなたの役職により社外での就労機会がある場合には注意が必要です。マイクロンでの勤務中にあなたまたは家族がそのような社外での就労機会を受け入れたい場合は、手続きを進める前にエイリアス: COI/ で事前の承認を得る必要があります。

他社への投資

Micron チームのメンバーとして、私たち自身、そして近い親戚や友人の投資が利益相反を生んだり、Micron のために客観的な判断を下す能力を妨げたりしないように注意する必要があります。競合他社、サプライヤー、顧客に対する実質的な利害関係は、事前の承認が必要です。実質的な利害関係とは、私たちの判断に影響を与える、または影響を与えると思われる経済的利害関係のことです。

投資の中には、決して受け入れられないものもあります。たとえば、あなたがサプライヤーや顧客の選択や交渉に関与していたり、そうした人物を監督していたりする場合、その会社に多額の投資をしているとは言えません。同様に、あなたが何らかの意思決定権を持っている会社とは、マイクロンに代わって取引すべきではありません。一方、上場投資信託、インデックスファンド、および類似の投資は、どの投資を含めるかについて個人投資家が発言権を持たないため、通常は利益相反を生じません。

金融機会

Micron での勤務中に得た情報を使用して特定の金銭的機会を追求することが利益相反となる状況に陥る場合があります。Micron に代わって客観的なビジネス上の決定を下すには、当社と競合する可能性がある状況に踏み込む際には注意が必要です。Micron での職務を通じて、または当社の専有情報を通じて発見したビジネスまたは金銭的機会を自分のものとして利用することはできません。

役員構成

Micron チームのメンバーが営利企業の取締役会に就任すると、実際のまたは潜在的な利益相反が発生する可能性があります。営利企業の取締役会に就任するというオファーを受け入れる前に、直属の上司と報告チェーンの最上級副社長に書面でオファーを開示し、利益相反開示フォームをコンプライアンス & 倫理チーム (別名: COI/) に提出する必要があります。営利企業の取締役会に就任するというオファーを受け入れる前に、上級副社長の書面による承認と、COI フォームに対するコンプライアンス & 倫理部門の承認を得る必要があります。

上場企業、またはマイクロンのサプライヤーまたは顧客である企業（上場の有無にかかわらず）の取締役会に就任するには、マイクロンの最高経営責任者および最高法務責任者による追加の承認が必要です。上場企業の取締役会に就任できるのは、マイクロンの上級副社長以上の役職者のみです。

マイクロンの代表として外部組織の取締役会に加わるよう依頼された場合、上記の手順に従って、潜在的な利益相反が適切に開示され、承認されるようにしてください。また、受け取る報酬をコンプライアンスおよび倫理チーム (別名: COI/) に開示してください。報酬は会社に返還される可能性があります。マイクロンに入社した時点で取締役会に所属している場合は、上司と報告チェーンの最上級副社長に開示し、開示書類を別名: COI/に提出して、その指示に従ってください。

Micron は、慈善団体、コミュニティグループ、学校、その他の同様の組織などの非営利団体の役員として活動することで、コミュニティと関わることを奨励しています。ただし、Micron の職務以外でこのような非営利団体の役員会に参加する場合は、Micron の代表としてではなく、自分のリソースのみで参加する必要があります。あなたが関わっている外部の非営利団体が、あなたの参加以外に Micron のリソース、サポート、またはその他の会社の関与を希望する場合は、Micron Foundation に連絡してください。

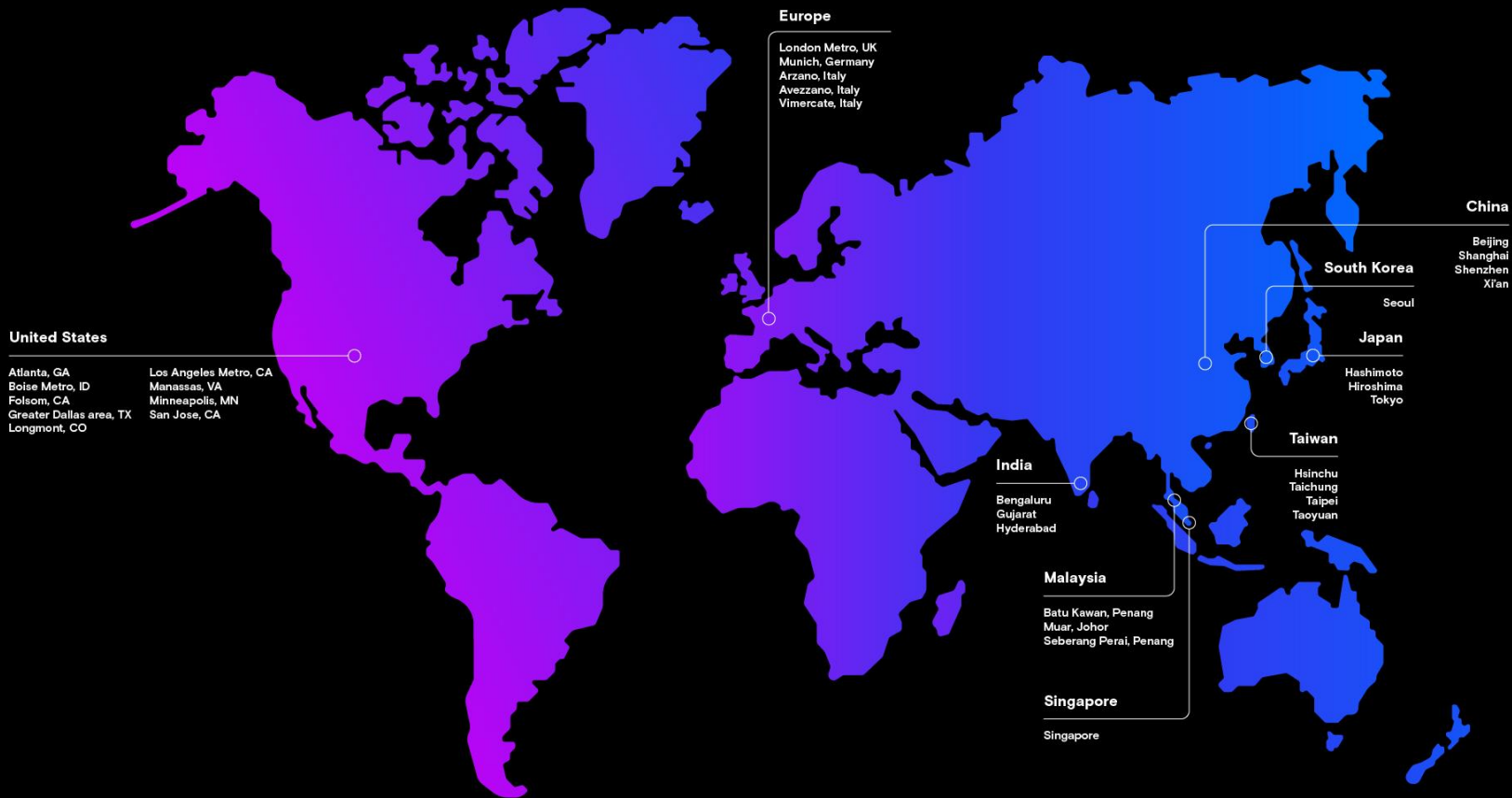
潜在的な利益相反の開示

利益相反（または潜在的利益相反、もしくは利益相反とみなされる利益相反）があると思われる場合は、速やかにコンプライアンスおよび倫理チーム (別名 COI/) に開示し、部門マネージャー、副社長または現場マネージャー、人事部門、コンプライアンスおよび倫理担当副社長、または最高法務責任者に通知して、必要に応じて承認または指導を求めてください。こうすることで、状況を適切に検討し、当社の利益相反ポリシーに従って対処することができます。

状況が変化した場合、チームメンバーは、利益相反につながる、または利益相反の印象を与える可能性のある投資や個人的または職業上の関係があるか、または認識しているかどうかを継続的に開示する義務を負います。

04

マーケットプレイスのために誠実に行動する



Micron global presence
Map reflects locations with 30 or more Micron team members

製品の品質

Micron は、「顧客重視」という当社のコアバリューに沿って、お客様のニーズと期待に応えるクラス最高の製品とサービスを提供しています。当社はすべての社内品質管理プロセスを遵守し、常に製品と顧客の仕様に従っています。当社は、製品の製造、設計、材料構成、材料調達、テスト、梱包、保管、取り扱い、ラベル付け、出荷に関連するすべての法律と規制を厳守しています。製品リコールが必要と判断された場合、当社は適用されるすべての手順、法律、規制に従うようにします。そうすることで、当社はお客様に最高の価値を提供します。当社の品質ポリシーは、グローバルポリシー サイト (エイリアス: Policy/) にあります。

サプライヤーへの期待

Micron は、サプライヤーがあらゆるビジネス上のやり取りにおいて高い倫理基準を満たすことを期待しています。サプライヤーには、当社の規範と倫理行動基準を遵守していただく必要があります。さらに、当社のサプライヤーは、現地の法律や慣習に関わらず、労働、健康、安全、環境、倫理、管理システムに関する RBA 基準に従う必要があります。

当社は、ビジネス パートナーの専門性と誠実さが、最終的に当社製品の品質と顧客関係に影響を与えることも認識しています。当社のサプライヤーは、当社に提供する製品とサービスが、適用されるすべての契約仕様、法律、規制に準拠していることを保証することが求められます。当社のサプライヤーが自社の製品、業務、またはプロセスに関して RBA コードの基準を満たしていないことに気付いた場合は、直ちにグローバル調達部門に報告する必要があります。

さらに、当社は倫理的かつ合法的に材料を調達することに尽力しています。つまり、当社は製品のサプライチェーンに対して適切なデューデリジェンスを実施しています。とりわけ、当社はコンゴ民主共和国 (DRC) または隣接国における市民暴力や人権侵害を直接的または間接的に支援している可能性のある紛争鉱物の調達を特定し、対処しています。当社の紛争鉱物ポリシーは、グローバルポリシー サイト (エイリアス: Policy/) に掲載されています。

Micron は、サプライヤーが当社に提供する製品とサービスが、適用されるすべての契約仕様、法律、規制に準拠していることを保証することを期待しています。

当社のサプライヤーは、社会的責任を果たし、倫理的に健全な方法でグローバル サプライチェーンを管理する上で重要な役割を果たします。マイクロンは、監視および監査手順を使用して、サプライヤーが当社の高い基準を維持できるようにしています。マイクロンのサプライチェーンで人権侵害やその他のコンプライアンス違反が発生している疑いがある場合は、声を上げる責任があります。

質問：

エライジャは、紛争鉱物を含む材料を供給し、当社のベストセラー製品のいくつかの製造に使用されている材料を非常にお得な価格で提供するサプライヤーとの契約をまとめています。予算が厳しく、スケジュールが遅れているため、マイクロンのベンダー承認プロセスに従わずにサプライヤーから材料を確保しています。また、マイクロンの紛争鉱物デューデリジェンスも無視しています。エライジャは、他の目的やプロセスに関係なく、製品をスケジュールどおりに最低コストで市場に提供することが自分の仕事だと考えています。彼は正しいことをしているのでしょうか？

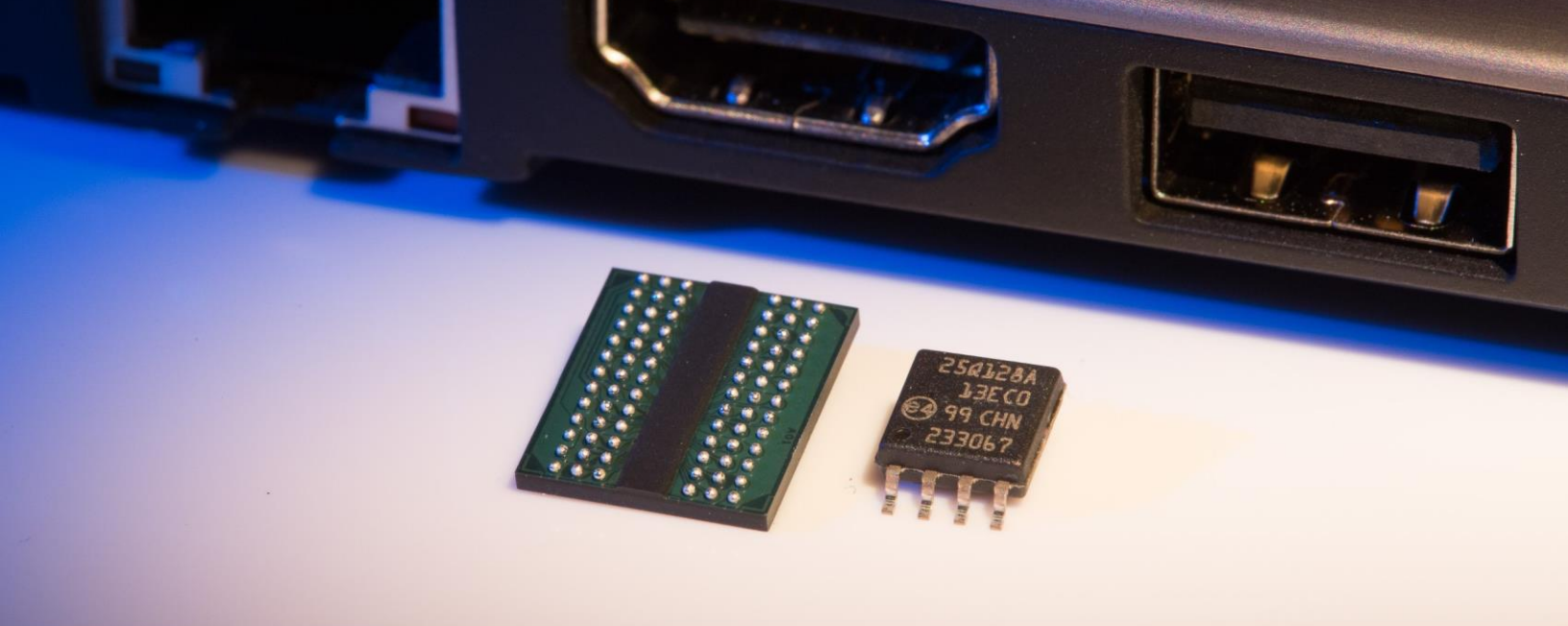
答え：

いいえ。マイクロンはサプライチェーンにおける人権保護に取り組んでおり、製品の製造に使用する材料がコンゴ民主共和国や近隣諸国における市民暴力や人権侵害を助長しないよう、法律とマイクロンのポリシーに準拠するために必要なすべての措置を講じています。このコミットメントを満たすには、すべてのサプライヤーのデューデリジェンス手順に厳密に従う必要があります。私たちの原則を危険にさらすことになるなら、手抜きをしたり、数ドルを節約しようとしたりすべきではありません。

市場における公正な行為

当社は、公正な価格で幅広い商品の品揃えをお客様に提供できるよう努めています。このため、当社は米国および当社が事業を展開しているその他の国の公正競争法に完全に準拠しています。公正競争法は、市場における企業が品質と誠実さに基づいて競争することを保証するものであり、価格操作、脱税、市場、顧客、またはサプライヤーの割り当て、抱き合わせ販売やバンドル販売、または競争を不当に制限するその他の契約などの不公正で反競争的な慣行に参加して競争することは決してありません。これらの法律に違反する書面または口頭の契約がない場合でも、当社の行動から違法な契約が推測される場合があります。競合他社と不当に取引を制限する契約を結ぶこと、またはそうした印象を与えることは容認されません。不正の印象を与えることさえ避けるために、当社は通常、競合他社と以下のトピックについて話し合うことを避けます。

- 製品の価格、信用条件、販売条件
- 顧客に関する計画
- 価格設定ポリシー、入札計画または戦略
- マーケティング計画
- 生産量などの出力制限
- 割引とプロモーション
- 市場、地域（販売地域など）または顧客の分割
- 在庫と容量
- 顧客やサプライヤーと協力するかどうか、またどのように協力するか



業務上の行為やコミュニケーションにおいて、以下のような行為は不適切となる可能性があるため、法務部門から事前承認を得る必要があります。

- 競合他社との協力協定の締結
- 独占取引の確立
- 異なる製品を結び付けたり、まとめたりすること
- 「要件」または独占契約を締結する
- 再販業者との再販価格の設定

また、業界団体の会議に参加したり、業界団体を通じてコミュニケーションをとったりする場合にも注意が必要です。誰かが上記のトピックについて議論しようとした場合は、直ちに議論を中止し、会議から退席して法務部に報告する必要があります。反競争的な会話に対する異議を明確かつ明白に表明することで、反競争的行為の告発から自分自身と会社を守ることができます。

質問：

貿易会議で、ジェイソンは友人のザックに偶然会いました。ザックはマイクロンの競合企業の営業担当者です。ザックはジェイソンに「価格競争が激しいと利益を上げるのは難しい。何とか改善できる方法があればいいのに」と言います。ジェイソンは肩をすくめてにっこり笑います。ザックはうなずき、親指を立てて「よかった。この方法ならお互いに得だ」と言います。ジェイソンは何か悪いことをしたのでしょうか？

答え：

ザックは、自分とジェイソンの両方が価格を上げるべきだと提案しているようです。これは価格協定と呼ばれる違法な反競争行為です。このアイデアに反対を表明しないことで、ジェイソンはザックの計画に賛成しているという印象を与えている可能性があります。これはジェイソンにとって、そしてマイクロンにとって深刻な問題につながる可能性があります。代わりに、彼は価格について話すことを拒否し、会話を離れ、法務部門に直ちに報告すべきでした。

競争法に違反すると、当社および個人に厳しい民事罰および刑事罰が科せられる可能性があります。多くの国際法や規制と同様に、競争法は複雑で、国によって異なります。私たち一人ひとりが、勤務先の国の法律を理解し、米国外で完全に発生した行為も米国の法律の対象となる可能性があることを認識する必要があります。

競合他社の情報を倫理的に収集し使用する

市場で競争するには、業界のトレンドを把握する必要があります。これには、市場で競合他社が顧客に提供しているものを常に把握することが含まれます。ただし、競合他社に関する情報は、公正かつ合法的かつ倫理的にのみ収集および使用する必要があります。一般的に、これは顧客、公開書類、ニュースソース、業界調査やレポートなどの公開されている情報源からのみ情報を収集することを意味します。

弊社は、産業スパイ活動や、競合他社の現従業員、元従業員、請負業者に機密データの開示を求めるなどの違法行為を通じて非公開情報を入手することは決してありません。たとえば、以前の雇用主から新入社員が持ち込んだ記録から情報を収集することは決してありません。さらに、パートナー、サプライヤー、顧客、または機密情報として扱うことを了承した他の誰かに提供された競合提案または製品に関する情報を使用することも決してありません。弊社に代わってそのような活動に従事する第三者を雇用してはなりません。

競争法は複雑であり、さまざまな状況で問題が発生する可能性があります。Micron チームメンバーに関係する多くの法律や状況の詳細な説明については、当社のグローバルポリシーサイト(エイリアス: Policy/)にある「独占禁止法コンプライアンス マニュアル」を参照してください。

競争法に関するガイダンスが必要な場合、または反競争的行為を報告する場合は、上司または法務部門に連絡してください。

私たちは、競合他社に関する情報を公正、合法、倫理的にのみ収集し、使用する必要があります。



お客様への敬意

当社のコアバリューである「顧客重視」に従い、チームメンバーは、お客様とのあらゆる取引を含め、常に誠実に行動することが求められます。すべてのビジネス活動において、当社は適用法、規制、および会社のポリシーに従って行動する必要があります。当社はすべてのお客様に対して誠実に接し、当社製品について虚偽の説明をすることは決してありません。当社は、Micron チームメンバー、または当社のサプライヤー、お客様、競合他社、その他の会社の従業員を不当に利用してはなりません。これを実現するために、当社は、操作、隠蔽、特権情報または機密情報の乱用、重要な事実の虚偽の説明、その他の不公正な慣行に決して関与してはなりません。

誠実な販売およびマーケティング資料

Micron の評判は、当社の最も重要な資産の 1 つです。

お客様からの信頼を守るために、当社のマーケティングおよび販売活動は常に公正、誠実、正確でなければなりません。製品に関する主張は真実でなければならず、それを証明できなければなりません。

会社の内部ポリシーと手順に従い、適用される広告法と規制を常に遵守することが非常に重要です。

贈り物、接待、食事

Micron では、ベンダー、サプライヤー、顧客、その他のビジネスパートナーとの長期的な関係を重視しています。通常 of 業務の過程で、これらの関係における信頼関係を維持する手段として、贈答品や接待を提供したり受け取ったりすることがあります。ただし、ビジネス上の儀礼の交換は、当社の「贈答品、接待、食事に関するポリシー」およびエイリアス: GEM/にあるガイダンスに準拠するように注意する必要があります。

次のような特定の贈り物、接待、食事 (GEM) には、GEM/のコンプライアンスおよび倫理部門からの事前承認が必要です。

- 価値に関係なく、米国政府職員に提供されるあらゆる GEM。
- 米国政府関係者以外の者に提供された50米ドル相当以上のGEM*、または
- 合計で150米ドルを超えるGEMの提供または受領
(政府職員または政府機関に関連していない場合)

*米国以外の一部の法域では、金銭的基準が低い、または政府職員への GEM の提供を全面的に禁止する現地法が存在します。現地法が Micron のポリシーよりも厳しい場合は、必ずすべての現地法に従ってください。詳細については、以下の「贈収賄と汚職」セクションを参照してください。

贈り物には、有形物品、食事、休暇、賞品、チケット、推薦、休暇施設の使用、株式またはその他の証券、交通手段など、価値のあるものなら何でも含まれます。

接待とは、双方が出席する食事やイベントのことです。ただし、ビジネスパートナーがこの種のイベントへのアクセス (チケットなど) を提供したが、一緒に出席しない場合は、贈り物とみなされ、以下に示すより厳格な贈り物のルールが適用されます。

贈り物を贈ったり受け取ったりする場合は、次の点を確認する必要があります。

- 迷惑メール
- まれ
- 慣習的で上品な
- 値段が手頃
- 現金または現金同等物 (ギフトカードやバウチャーなど) ではない
- ビジネス目的の場合
- 適用される契約、法律、規制に準拠
- マイクロンおよび受取人の贈答品に関するポリシーまたは既知の企業基準に準じて許容される

上記の基準を満たす贈り物を贈ったり受け取ったりする場合でも、礼儀を交わす際には注意が必要です。上記のガイドラインに該当しない品物は丁重に辞退してください。贈り物を返却できない場合、または返却することで問題が発生する場合は、マイクロン社に引き渡して会社での使用、販売、または寄付を依頼してください。

ビジネス上の礼儀の交換はプロフェッショナルかつ適切なものであり、利益相反の印象を与えないように注意する必要があります。



Happy 46th Anniversary
micron

上記のガイドラインに加え、ビジネス接待はいくつかの追加基準を満たす必要があります。当社は、以下の場合にのみビジネス接待を提供または受け入れることができます。

- ビジネスディスカッションに適した環境で行われる
- マイクロンの相互尊重の約束に違反しない
- 受信者が要求したり提案したりしていないことを意味する、求められていないもの
- 不合理な基準を設定したり、他のチームメンバーに不合理に思われたりしない
- マイクロンの利益にならない行動をするように私たちに影響を与えない

明確に申し上げますと、ストリップクラブ、ホステスやホストクラブ、マッサージパーラー、その他同様の施設は、ビジネスの話し合いには適していません。

政府関係者に GEM を提供する場合は、より厳格な規則に従う必要があることに留意してください。このため、政府関係者に GEM を提供または提供する場合には、Micron の事前承認規則を理解する必要があります。

受け入れてもいいですか？

ワールドカップのチケット	おそらくそうではありません。これらのチケットは高価であり、このビジネスパートナーに対して偏見を抱かせる可能性があります。チケットを受け取る前に、部門マネージャーまたはコンプライアンスおよび倫理部門から承認を得る必要があります。
サプライヤーのロゴが入ったTシャツとボールペン数本	はい、これらの品目は当社のすべてのガイドラインに適合しているためです。これらは名目上の贈り物とみなされ、承認は必要ありません。
地元の犬舎に犬を1週間預けられるバウチャー、無料のヨガセッションのギフト券、お気に入りのコーヒーショップの20ドル分のギフトカード	いいえ、バウチャー、ギフト券、ギフトカードは現金と同等とみなされるため、現金による贈り物はお受けできません。
同僚とシェアできるフルーツとチーズのギフトバスケット	はい、あまり高価ではなく、理想的には同僚と共有できるのであれば可能です。
現金またはギフトカードが入った封筒	いいえ、現金または現金と同等のものは受け取れません。

一部の部門や事業部では、贈り物や接待に関してより厳しい規則を設けていることに留意してください。

贈り物や接待に関するご質問は、以下のいずれかの窓口までお問い合わせください。

- あなたのマネージャー
- 法務部門
- コンプライアンスおよび倫理部門、compliance_ethics@micron.com
- 倫理・コンプライアンス担当副社長

質問：

マイケルは、重要な製造設備の新しいサプライヤーを選定中です。取引先の1社から、ギフトバスケット、ネクタイ、ワイン1本など、いくつかのささやかな贈り物が届きました。これらの品物を受け取ってもよいでしょうか。

答え：

これらの贈り物は個別には問題ありませんが、多数の贈り物を受け取ると、マイケルの判断が不適切に左右されているように見える可能性があります。彼は、この状況に対処する方法と、このサプライヤーからこれらの贈り物を受け取ってよいかどうかについて、上司または法務部門に相談する必要があります。

賄賂と汚職

当社は、賄賂や不正な支払いではなく、製品の品質と顧客サービスを通じて倫理的にビジネスを獲得することを信条としています。当社は、米国の海外腐敗行為防止法 (FCPA) や英国の賄賂禁止法など、あらゆる形態の賄賂を禁止するすべての法律、条約、規制を遵守しています。

以下は、私たちが理解し従わなければならない重要なポイントと定義です。

米国以外の政府関係者および他の政府関係者には、連邦政府、州政府、地方政府の職員、政党関係者または候補者、政府所有企業の従業員、国連、世界銀行、または類似の組織の従業員または役員が含まれます。国によっては、企業、学校、またはその他の組織が実際に政府所有であるかどうか不明な場合があります。不明な点がある場合は、行動を起こす前にコンプライアンスおよび倫理部門に指導を求めてください。

賄賂には、金銭だけでなく、役人の行動や決定に影響を与えたり、当社に不当な利益を得ようとする試みのように見える可能性のあるあらゆる種類の贈り物、好意、接待など、価値のあるものが含まれます。

キックバックとは、ビジネス上の取り決めをしたり奨励したりすることに対する報酬として、すでに支払われた（または支払われるべき）金額を返還することです。

便宜供与金は通常、標準的な政府サービスを迅速に提供するために支払われる少額の現金です。これらのサービスには、許可証の処理、警察による保護の提供、公共サービスの迅速化などが含まれます。特定の国で慣習となっている場合でも、便宜供与金の支払いには決して同意しないでください。

汚職を避けるための鍵は、客観的なビジネス上の意思決定能力に影響を与える可能性のある価値あるものを決して提供または受領しないことです。これは、当社と取引を行う（または継続する）ことの決定、ビジネス上の優位性の獲得、またはその他の不適切な影響力の形をとる可能性があります。政府関係者、顧客、ビジネス

パートナーと仕事をしているかどうかに関係なく、賄賂を提供、支払い、要求、または受領することは決してありません。さらに、法的に禁止されている行為を第三者に依頼したり、第三者がマイクロンに代わって非倫理的な行為を行うことを故意に許可したりすることは決してありません。

FCPA に基づき、当社の帳簿と記録は、

当社の支出およびその他の取引を正確かつ公正に反映する必要があります。また、当社は、正直な財務諸表を提供し、利益、損失、資産、負債を正確に計上できるように、内部統制システムを維持することが義務付けられています。

汚職防止法に違反した場合の民事および刑事罰は厳格であるため、当社に適用される汚職防止法を常に遵守することがさらに重要になります。当社には、たとえそれが小さなものであっても、違反が判明した場合や違反が疑われる場合は、直ちに報告する義務があります。誠意を持って報告したからといって報復を受けることはありませんのでご安心ください。

贈収賄と汚職に関する追加情報については、コンプライアンスおよび倫理センター (別名: **Compliance/**) およびグローバル ポリシー サイト (別名: **Policy/**) をご覧ください。特に、政府関係者と交流する前には、贈収賄および汚職防止ポリシーと政治関与ポリシーを注意深く確認する必要があります。

質問：

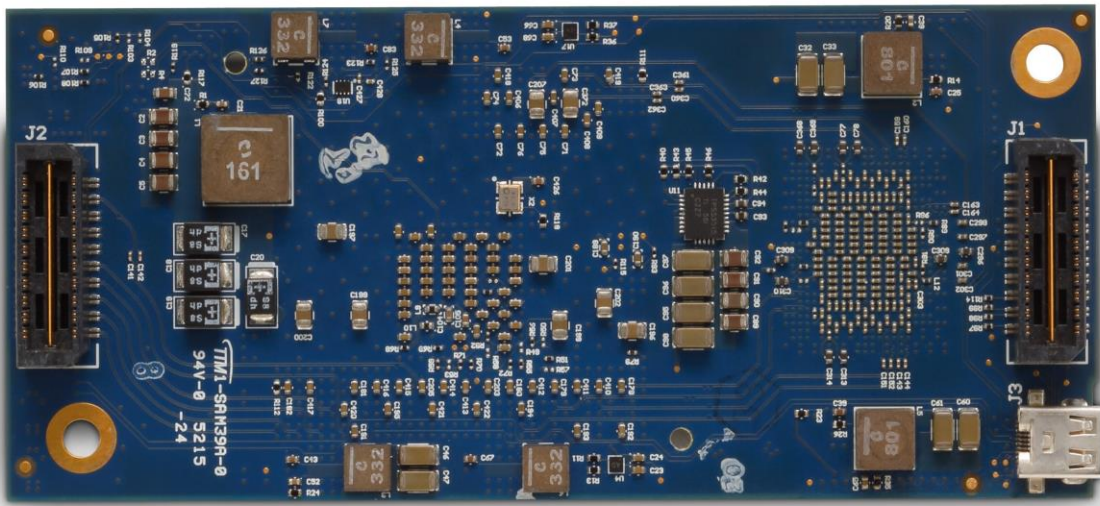
マイクロンの製造施設を開設する前に、黄氏は地元の市役所から特定の環境許可を取得する必要があります。市役所の職員は、許可の手続きには最大 6 週間かかる可能性があると伝えます。市役所の職員は、黄氏が「感謝のしるし」として車などを提供すれば、より早く手続きが完了するかもしれないと示唆します。黄氏はできるだけ早く許可を取得する必要があります。どうすればよいのでしょうか。

答え：

許可証がどれだけ必要だとしても、Huang 氏は店員の提案に従うべきではありません。この贈り物は賄賂に該当します。Micron では、いかなる状況でも賄賂を支払うことはありません。それは当社のビジネスのやり方ではありません。Huang 氏は、この事件を上司または法務部に報告する必要があります。

当社は、政府関係者、顧客、ビジネスパートナーと仕事をしているかどうかにかかわらず、賄賂を提供、支払、要求、または受け取ることは決してありません。





政府契約

Micron は、政府機関による物品およびサービスの取得、政府契約の履行、補助金や協力協定などの政府財政援助契約を規定するすべての法律、規則、規制を厳格に遵守します。政府職員や政府機関と協力する場合、当社は常に誠実かつ正確でなければなりません。当社は、政府職員や政府機関に対して、不正確、不完全、または誤解を招くような情報、証明書、声明、またはレポートを提供することは決してありません。当社が政府契約または下請け契約に入札する場合は常に、価格設定の基準として正確な数字を使用するよう特別な注意を払わなければなりません。

政府契約に取り組むチームの一員である場合、契約要件を常に把握し、遵守する責任があります。許可なく契約仕様から逸脱することは決してなく、常に適用される手順に従ってください。国際的な政府機関や組織を含む政府機関と協力する場合、プロセスや政府職員および職員とのやり取りに適用されるすべての規則を学習し、遵守することは私たちの責任です。

他の顧客と協力する際には適切であるかもしれない活動が、政府機関や政府職員と協力する際には不適切、あるいは違法となる場合があります。これらの法律に従わなかった場合の罰則は厳しく、多額の民事罰金、刑事罰金、懲役刑などが科せられます。

政府および広報部門外の、または政府および広報部門から独立したチームメンバーは、**Micron** に代わって通常とは異なる政府とのやり取りを行う前に、まずコンプライアンスおよび倫理部門と政府および広報部門に相談する必要があります。また、政府とのやり取りを行う前に、政治関与ポリシー、贈収賄および汚職防止ポリシー、およびその他すべての適用可能なポリシー (別名: **Policy**/) を注意深く確認してください。

政府関係者との協力や政府契約の遵守に関する詳細については、コンプライアンスおよび倫理部門または政府および広報部門にお問い合わせください。

世界中でビジネスを展開

グローバル企業として、当社は世界中に製品をお届けしています。これを達成するには、国際貿易活動に適用されるすべての国および地域の規則と規制を慎重に遵守することが重要です。当社は、輸出、再輸出、輸入に関して当社に適用されるすべての法律を理解し、従う必要があります。また、英国犯罪税法などの納税に関する法律を含め、当社の世界規模の事業に適用されるその他の法律にも従う必要があります。脱税幫助とは、脱税行為を行うこと、または故意に他者の脱税行為を幫助することを意味します。当社は、そのような行為に決して関与してはなりません。

輸出は、製品、機器、材料、ソフトウェア、または技術 (技術支援を含む) が他国の人物に送られるときに行われます。また、技術 (技術情報および支援を含む) またはソフトウェアが、口頭、視覚的、またはその他の書面による手段を含む何らかの方法で、米国または第三国に居住する米国市民以外の人物に公開されるときにも、輸出が発生することがあります。何かを輸出する前に、配送場所と受取人の両方の適格性を確認する必要があります。また、必要なライセンスと許可をすべて取得し、適切な関税をすべて支払う必要があります。

輸入活動、つまり米国外または外部から購入した商品を別の国に持ち込む活動も、さまざまな法律や規制の対象となります。輸入活動には、関税や税金の支払い、および特定の書類の提出が必要になる場合があります。

輸出入に関する法律は非常に複雑なため、法務部門のグローバル貿易コンプライアンスグループの承認なしに、制限されている国や人物が関与する、または生物、化学、核、ミサイルの最終用途が疑われる取引には関与しないでください。詳細については、エイリアス: Trade/ を参照してください。

ボイコット

当社が事業を行っている場所に関係なく、米国政府が許可していない国際ボイコットへの参加や協力を禁じる米国の適用法に従わなければなりません。

ボイコットへの協力要請は、口頭または書面で行われます。多くの場合、契約書、信用状、入札または提案資料に記載されます。「ボイコット」または「ブラックリスト」という言葉、または特定の国籍、民族、宗教、または性別への言及を含む要請、指示、または契約条項は、ボイコットに関連する可能性があります。

米国法では、たとえ当社がその要請に同意しない、または応じない場合でも、認可されていない国際ボイコットへの参加要請を報告するよう義務付けられている場合があります。そのような要請を受けた場合は、Micron が報告義務を判断できるよう、直ちにグローバル貿易コンプライアンス チーム (別名: Trade/) に報告する必要があります。

ボイコットや国際貿易に関するご質問は、以下の連絡先までお問い合わせください。

- グローバル貿易コンプライアンスグループ trade_compliance@micron.com
- コンプライアンスおよび倫理部門、compliance_ethics@micron.com
- 別名: ヘルプライン/

05

投資家のために誠実に行動する



書籍と記録

私たち全員が、財務帳簿、記録、開示の完全性を確保する役割を担っています。勤務時間から製品在庫、旅費、税務記録、会計まで、会社のために記録するあらゆる情報は、報告するビジネス情報が正確、完全、かつタイムリーであるよう保証する必要があります。これには、以下のすべてを正確に記録または完了することが含まれます。

- 経費と資本支出
- 販売
- 出荷
- タイムシート
- バウチャー
- 納税申告
- 請求書
- 給与および福利厚生記録
- 規制データ
- 生産動向
- その他の重要な会社情報

私たちが記録する情報は、当社の将来の計画に役立ちます。また、株主や規制当局に報告する財務データにも役立ちます。当社が正しい計画を立て、株主や規制当局 (税務当局を含む) が正確な情報を入手できるようにするため、当社の帳簿と記録は、紙か電子かを問わず、常に完全かつ誠実でなければなりません。帳簿と記録は、当社の事業資産、負債、経費、収益を公正に反映する必要があります。私たち全員に、米国の一般に認められた会計原則 (GAAP) および多国籍の上場企業に適用されるその他の規制要件に従って帳簿と記録を維持する義務があります。また、詐欺行為や脱税行為を行わず、他者が行うのを幫助しない義務もあります。

レコードとは何ですか？

記録は紙の文書である必要はなく、たとえば電子文書でもかまいません。以下はすべて記録です。

- 紙のファイル
- メール
- インスタントメッセージ
- ウェブページのコンテンツ
- スプレッドシート
- システムファイルとデータベース
- オーディオファイルとテープ
- コンピュータのハードドライブ
- CD、DVD、USBドライブ、外付けディスクドライブなどのメディアストレージ形式

私たちの帳簿や記録は紙であっても
または電子的なもの — は常に完全かつ正直でなければなりません。
これらは、当社の事業資産、負債、費用、収益を公正に反映したも
のでなければなりません。



記録管理

正直で正確な財務記録を作成することに加えて、記録保持ポリシーに従って会社の記録を管理および保持する必要があります。記録は、ビジネスニーズを満たし、規制要件を満たすために不可欠です。ポリシーに違反して記録を破棄しないでください。

特定の文書または記録が調査、監査、または潜在的な訴訟に必要な可能性がある場合、それらは法的保留の対象になることがあります。記録が法的保留の対象になった場合、通常の保管スケジュールに関係なく、保留が解除されたという指示があるまで、記録を変更、損傷、または破棄してはなりません。

当社は、あらゆる詐欺行為の防止と検出にも全力で取り組んでいます。一般的に、詐欺とは、事実を故意に隠蔽し、他人を欺いたり、誤解させたりすることです。詐欺には次のような行為が含まれます。

- 不正な財務報告または収益認識による虚偽記載
- 資産を違法、不適切、または意図しない目的（電信詐欺や架空のベンダーなど）で使用することに関する虚偽の記述
- 不正に得た収益と資産
- コストと経費を回避しようとする試み

特に当社の内部会計慣行、財務上の不正または詐欺に関して、非倫理的、不適切または違法な行為が行われていると思われる場合は、直ちにヘルプラインに懸念を報告してください。

当社の帳簿や記録についてご質問がある場合は、上司、記録部門、またはコンプライアンスおよび倫理部門にお問い合わせください。

調査と監査

政府の調査

調査または捜査の一環として、政府機関が情報提供のために連絡を取る場合があります。情報を提供する前に、まずは法律で許可されているコンプライアンスおよび倫理部門に連絡してください。コンプライアンスおよび倫理部門は対応方法についてアドバイスを提供し、適切な手順がすべて実行され、会社の利益が保護されるようにします。

内部調査

Micron では、チームメンバーには内部調査に関して 2 つの重要な義務があります。

- 報告義務 — まず、チームメンバーは、法律または Micron のポリシーに違反する可能性のある懸念事項について誠意を持って報告することが求められます。オープンな報告は、当社のコンプライアンスプロセスの重要な要素です。チームメンバーは、コンプライアンス ヘルプライン (別名: Helpline/) に匿名で報告したり、上司、マネージャー、法務部門、人事部門、セキュリティ部門に報告したりするなど、さまざまなチャネルを通じて懸念事項を報告できます。報告が正当かどうかわからないチームメンバーは、上司、人事部門、法務部門に相談して、問題についてさらに話し合う必要があります。
- 協力義務 — 第二に、マイクロンのチームメンバーは全員、不正行為や不法行為の疑いに関する調査に全面的に協力することが求められます。つまり、チームメンバーは調査員に正直かつ完全に回答し、面接で尋ねられる質問に回答し、要求に応じて文書、記録、その他の資料を提供しなければなりません。調査に協力しない場合は不正行為とみなされ、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

インサイダー取引

Micron の代理として働いている間、当社、当社の所有者、当社の顧客、または他の会社に関する重要な非公開情報を知る場合があります。重要な非公開情報 (内部情報とも呼ばれます) とは、一般には知られていない会社に関する情報であり、その会社の証券の購入、売却、または保有に関する一般的な投資家の決定に影響を与える可能性があります。情報は、一般に広く配布され、市場に情報が浸透するまでの合理的な待機期間が経過すると、非公開ではなくなります。

内部情報には、次のいずれかに関する情報が含まれます。

- 財務実績
- 将来の収益または損失の予測
- 製造生産性や生産量の変化
- 合併または買収の提案に関するニュース
- 重要な顧客の獲得または喪失
- 新製品
- 上級管理職の交代
- 重大な訴訟
- 株式または債券の発行
- 株式分割
- 物質的資産の損害または損失

内部情報には、業務の過程で秘密裏に入手した他の会社、サプライヤー、顧客に関するものも含まれます。

重要な非公開情報に基づく取引は、インサイダー取引法に違反します。インサイダー取引に関与した者は、懲戒処分の対象となるほか、民事または刑事罰の対象となる可能性があります。また、投資判断に影響を与えるために、他者に内部情報を提供したり、情報を漏らしたりすることも違法です。

インサイダー取引は非常に深刻に受け止められています。たとえ少額の取引であっても、あるいはまったく利益が出なかったとしても、内部情報を悪用すると罰せられる可能性があります。

職務の一環としてマイクロンの他のチームメンバーと内部情報を共有する場合は、そのような情報を公開するための手順を理解し、それに従う必要があります。保有すべきでない内部情報を受け取った場合は、直ちに法務部に報告してください。

詳細については、エイリアス: **Policy/**にあるインサイダー取引ポリシーを確認してください。

当社を代表して

当社のコミュニケーションが正確で一貫性のあるものとなるよう、メディアや投資コミュニティに対してマイクロンを代表して発言する権限は、特定の指定されたチームメンバーのみに与えられています。当社に関するインタビューや情報の依頼を受けた場合は、丁重にコメントを断り、グローバルコミュニケーション & マーケティング部門に依頼を回してください。詳細については、当社のグローバルポリシーサイト (エイリアス: **Policy/**)にある非財務情報開示ポリシーを確認してください。

専門家ネットワーク

エキスパート

ネットワークは、さまざまなテーマについてさらに詳しく知りたい第三者と、その分野の専門家を結びつける調査会社です。これらの会社は、半導体業界、メモリおよびストレージ市場、新興技術、製品、その他の関連トピックについて、ネットワークのクライアント (企業、競合他社、投資家、ヘッジファンドなど) に洞察を提供することに対して、**Micron** チームメンバーに報酬を支払います。

あなたの専門知識について相談を受けるのは間違いなくうれしいことですが、これらの専門家ネットワークがあなたに連絡を取っているのは、マイクロンでの経験と役職があるからだということを忘れないでください。これらの関与の性質上、デリケートな話題を避けるのは非常に困難 (不可能ではないにしても) であり、不適切な開示が行われる可能性が高くなります。

さらに、マイクロンでの業務に関連する話題について専門家ネットワークと関わると、利益相反につながる可能性があり、あなたとマイクロンがインサイダー取引や不適切な開示に関する連邦証券法に違反するリスクにさえさらされる可能性があります。重大なリスクを伴うため、マイクロンは従業員がマイクロンでの業務に関連する話題について専門家ネットワークと関わることを禁止しています。あなた自身とマイクロンを守るために、これらの専門家ネットワークとのいかなる関与も受け入れず、その他の方法で連絡も取らないでください。

ソーシャルメディアの利用

ソーシャルメディアは私たちの日常生活や文化の一部であり、顧客、ビジネスパートナー、コミュニティと交流しネットワークを築くための優れた手段となります。私たちはソーシャルメディアを責任を持って使用する必要があります。ソーシャルメディアには、インターネットフォーラム、ブログ、マイクロブログ、オンラインプロフィール、ウィキ、ポッドキャスト、画像、ビデオ、電子メール、インスタントメッセージ、音楽共有など、さまざまな形式があります。テクノロジーが進化するにつれて、ソーシャルメディアプラットフォームも進化します。

ソーシャル

メディアで発言したり書いたりしたことは、永久的な記録となり、無限の方法で世界中に共有される可能性があることを常に忘れてはなりません。したがって、こうしたフォーラムに参加する際には、敬意と良識を常に念頭に置く必要があります。さらに、マイクロンを代表して発言する権限が特に与えられていない限り、発言は個人の見解を表すものであることを明確にする必要があります。

ソーシャルメディアプラットフォームは、**Micron**の機密情報を共有するために決して使用しないでください。

Micron は表現の自由を尊重しており、一般的に、仕事以外での行動は **Micron** の関与対象ではありません。ただし、**Micron** の規範やその他のポリシーに違反する、または **Micron** での職務遂行、他の **Micron** チームメンバーの遂行、または **Micron** のビジネス上の利益や評判に影響を与える、工作中または仕事外の活動は **Micron** にとって正当な関心事であり、適切な判断を下す必要があります。

当社の帳簿や記録についてご質問がある場合は、上司、記録部門、またはコンプライアンスおよび倫理部門にお問い合わせください。

これらのトピックの詳細については、次のリソースを参照してください。

- インサイダー取引に関するご質問は、グローバル株式計画部門または法務部門にお問い合わせください。
- **Micron** に関するインタビューや情報のリクエストを受け取った場合は、そのリクエストをグローバルコミュニケーション & マーケティング部門または投資家向け広報部門に転送してください。
- 適切なコンテンツをオンラインで投稿する方法について詳しく知りたい場合は、当社のグローバルポリシー サイト (エイリアス: Policy/) にあるソーシャルメディアポリシーをお読みください。
- 当社の帳簿や記録についてご質問がある場合は、上司、記録部門、またはコンプライアンスおよび倫理部門にお問い合わせください。

質問：

アシュリーはマイクロンの営業担当者です。彼女はソーシャルメディアのプロフィールに「シャンパンを開ける時間です! 月間売上目標を 20% 上回りました!」と投稿しています。これでいいのでしょうか?

答え：

いいえ。アシュリーは、マイクロンの月間売上に関する情報 (良いニュースであっても) を投稿すべきではありませんでした。この情報は常に社内に留めておく必要があります。アシュリーは正確な数字を公表していませんが、マイクロンの財務実績に関する情報を投稿しており、外部の人がビジネス上の意思決定に利用できる可能性があります。どのような情報が

06

地域社会のために誠実に行動する



環境への取り組み

私たちは皆、健全な空気、土地、水から恩恵を受けており、これらの資源を保護し保全するために自らの役割を果たしています。そのために、当社は当社に適用されるすべての環境法を遵守しています。法律を遵守するだけでなく、RBA 規範に概説されている基準を含め、すべての職場で環境の卓越性に関する業界の基準を上回るよう努めています。RBA 規範は、次の基準を定めています。

- 環境許可と報告
- 汚染防止と資源削減
- 有害物質
- 廃水と固形廃棄物
- 大気排出
- 材料の制限
- 雨水管理
- エネルギー消費
- 温室効果ガスの排出

Micron は、役割と責任に応じて、チームメンバーに環境に関するトレーニングを提供します。

マイクロンは、事業全体にわたって持続可能な慣行を推進することに尽力しています。廃棄物の削減、汚染の防止、潜在的に危険な物質の取り扱いと廃棄には、安全で長期的な慣行を採用しています。また、コンプライアンスを維持し、地域社会の健全性を保つために、監視システムを維持しています。エネルギーを効率的かつ賢明に使用する方法を常に模索しています。詳細については、環境衛生安全方針と年次持続可能性レポート (別名: Sustainability/) をご覧ください。

環境要件に関する質問は、上司、環境・健康・安全チーム、法務部、またはヘルプラインにお問い合わせください。

当社は、単に法律を遵守するだけでなく、すべての職場で環境の優秀性に関する業界基準を上回るよう努めています。



政治活動

マイクロンは、候補者や政党を支持する政治活動に参加することを各自に奨励しています。ただし、マイクロンを代表して発言または行動しているという印象を与えることは決して許されません。政治活動には、自分の時間と自分のリソースのみを使用して参加する必要があります。会社の時間、資産、または機器を個人的な政治活動に使用することは決して許されません。同様に、個人的な政治献金に対する払い戻しを期待してはなりません。

企業の政治活動

マイクロンの公共政策の課題には、当社の事業利益を理解し、マイクロンにとって重要な法律を支持する公務員の選出が含まれます。ただし、マイクロンの資金およびその他の資産は、法律で許可され、マイクロンのポリシーに従っている場合にのみ、政治献金として使用できます。政府および公共問題担当部門と法務部門は、マイクロンに代わって政治献金を管理する責任を単独で負っています。これには、製品、サービス、輸送、施設の寄付が含まれます。

政府および公共問題部門は、マイクロンの世界的な政治活動とロビー活動を監督します。政府および公共問題部門外の、または政府および公共問題部門から独立したチームメンバーは、マイクロンに代わって非定型的な政府とのやり取りを行う前に、エイリアス: GPAC Compliance/ で提供されるリソースを通じて、コンプライアンスおよび倫理部門および政府および公共問題部門にまず相談する必要があります。

当社は、適切かつ合法的な範囲で、米国連邦および州の政治活動委員会 (PAC) を維持しています。従業員の PAC への参加は完全に任意です。いかなる政党や候補者への寄付や支援を強制されることは一切ありません。

弊社の PAC についてご質問がある場合、または政治候補者や政治運動を支持するよう圧力をかけられている場合は、政府および広報チームにお問い合わせください。

慈善活動への参加

当社の使命の一環として、当社および当社従業員と接触するすべての人に良い影響を与えることを目指しています。情熱を感じる組織や活動に参加することが奨励されており、特定の種類の慈善活動に対しては限定的な有給休暇を取得する資格がある場合もあります。ただし、許可なく会社の重要なリソースを個人的な慈善活動に使用することはできません。

チームメンバーとして、慈善活動に参加するかどうかは自由です。ただし、慈善活動や活動は、政治的な支払いのように見える(または、政治的な支払いの隠れ蓑として機能している)ものであってはいけません。適切な判断を下し、慈善活動について他のチームメンバーにアプローチする際には敬意を持ってください。詳細については、ポリシーサイト(エイリアス: Policy/)にあるコミュニティ ボランティア休暇ポリシーを確認してください。

免除

上級役員以上または取締役に対する本規範の免除は、取締役会または取締役会委員会によってのみ行われ、適用法の要求に従って速やかに開示されなければなりません。

**Micron のどこで働いていても、
具体的な仕事内容が何であっても、誠実さは常に重要です。**



追加リソース

ほとんどの場合、当社の規範のトピックに関する質問には、上司が最も適切に回答できます。ただし、場合によっては、他のリソースも懸念事項に対処するのに十分対応できることがあります。

懸念事項	連絡先	規約の詳細情報の参照先
アルコールや薬物の使用	<ul style="list-style-type: none"> 安全 安全部門 人材組織 	10ページ
独占禁止法と競争	<ul style="list-style-type: none"> 法務部 	22-24ページ
帳簿、記録、詐欺	<ul style="list-style-type: none"> ファイナンス 内部監査 法務部 	31-34ページ
ボイコットと国際貿易	<ul style="list-style-type: none"> グローバル貿易コンプライアンスグループ 	31ページ
利益相反	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス・倫理部門 部門長 副社長 人材組織 	16-19、26、36ページ
お客様の個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 法務部 	14-15ページ、24-25ページ
従業員の個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 法務部 	12-13ページ、15ページ
環境への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> EHS部門 EHS法務 	39ページ
ビジネスパートナーとの贈答・接待	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス・倫理部門 	25-28ページ
政府関係者への贈答品および接待	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス・倫理部門 	25、27-29ページ
政府契約	<ul style="list-style-type: none"> 法務部 政府と公共問題 	30ページ
嫌がらせや差別	<ul style="list-style-type: none"> 人材組織 従業員関係 副大統領 法務部門 	6-7ページ、10ページ
インサイダー取引	<ul style="list-style-type: none"> 法務部門 グローバルストックプラン部門 	35-37ページ
知的財産および機密情報	<ul style="list-style-type: none"> 法務部門 	12-15、24-25ページ
調査と監査	<ul style="list-style-type: none"> 法務部門 内部監査 	4、35ページ
メディア関係または投資コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコミュニケーション&マーケティング 投資家向け広報 	36-37ページ
取締役会への参加	<ul style="list-style-type: none"> 法務部門 最高コンプライアンス責任者 Micron Foundation (外部組織での Micron リソースの使用について話し合うため) 	19ページ
政治活動	<ul style="list-style-type: none"> 政府関係 法務部門 	40-41ページ
マイクロンに関する情報のリクエスト	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコミュニケーション&マーケティング 投資家向け広報 	15ページ、36-37ページ
サプライチェーンの懸念	<ul style="list-style-type: none"> グローバル調達 	8ページ、21-22
職場の安全	<ul style="list-style-type: none"> 安全部門 	8-10、21、39ページ

micron®

マイクロンテクノロジー株式会社
誠実さが重要:
マイクロンのビジネス規範
行動と倫理

©2024 Micron Technology, Inc. Micron のロゴとシンボルは Micron Technology, Inc. の商標です。その他の商標はすべて各所有者の財産です。無断複写・転載を禁じます。Rev. 11/2024

micron®